

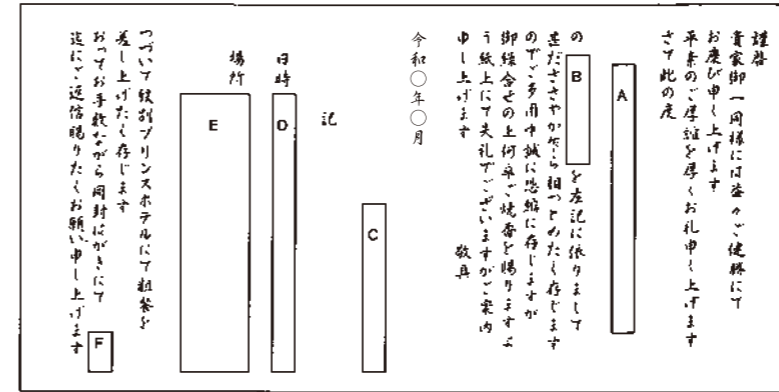
<宛名をご記入下さい>

NO	氏名	〒	住所	備考欄
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				

紋別プリンスホテルでは
真心をこめて
ご法要のお手伝いをさせていただきます

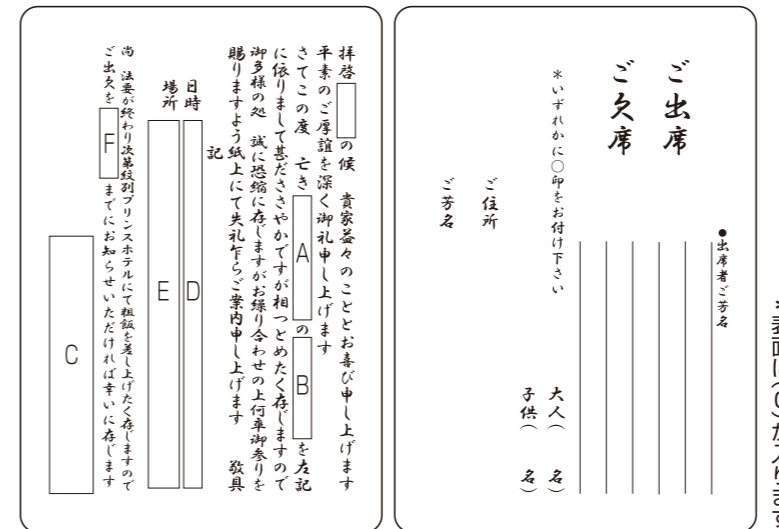
ご案内状

法要ご案内状奉書タイプ(返信はがき、封筒付)



*実際の仕上がりは筆書きになります

法要ご案内カードタイプ(封筒付)



▲ご案内カード

*上記タイプのいずれかに☑マークをお付け下さい。
両タイプ共に発送は当ホテルで行いますので郵便発送する箇所
(郵便番号、住所、名前)を左記の宛名欄にご記入の上、右記原稿
と一緒に取り揃え下さい。

原稿内容

御宗派、御宗教

A.故人の氏名、戒名、クリスチャンネーム、続柄

B.回忌数、年祭の数

C.施主の住所、氏名、電話 (返信はがきの宛名にもなります)

住所

氏名

電話

D.法事の実施日時

年	月	日	曜日
午前、午後	時	分	

E.法事の場所

場所

住所

電話

F.返信はがきの期日

年	月	日
---	---	---

ワンポイント

●合齋または併修

法要はできるだけ、故人一人に対して行いたいものですが、ある年には亡父の七回忌と亡祖母の十三回忌が重なる場合、時間的にも経済的にもかなりの負担になりますので、法要をあわせて行うことを、併修、または合齋といえます。

●併修を行う時の注意

併修を行うときには、早い命日にあわせて。一周忌に限っては故人に対する思い悲しみも深く、より丁寧にするため、他の法要とあわせての併修は行いません。

●精進料理

本来は精進料理が基本とされていますが、今はあまりこだわらなくなっています。

●席順

基本的な考え方として法事における席順は、葬儀や通夜の席順と逆になります。葬儀や通夜の場合は故人に対して血のつながりの濃い順に上座と決まっていますが、法事の場合は、血のつながりの濃い遺族や親族は末席となります。そして主賓客が中央になり祭壇に向かって左右に序列が決まります。僧侶が法事に出席する場合は、僧侶が1番の上座に位置します。

●献杯

献杯は慶事でいう乾杯にあたり、献杯が終了して会食に入ります。厳密にいきますと法要の席、仏教的に見たお齋の中には献杯という考えはないようです。後に、法要の席で乾杯という言葉もおかしいし、何か適当な言葉がないのかと探した末に付けられた言葉のように思われます。献杯という言葉は現在、一般に認知されたようで、法事の中の一つの区切りとして使われています。